

## 令和5年度第6回学校運営協議会会議録

様式2

学校名 天沼中学校

記録者 戸谷彩

開催日時	令和5年10月14日(火) 10:00~12:20
開催場所	天沼中学校 会議室
出席者(委員)	三石会長、松尾校長、生重職務代理、齊郷委員、田中委員、馬場委員、福井委員、茂木委員、守委員、戸谷委員
出席者(学校)	黒澤副校長
傍聴者人数	保護者1名、教育委員会(2名)

## 会議内容(次第順)

【地域教育活動に関する懇談会】(田中会長を囲んで)

【会議に先立って、第6期CS委員の自己紹介】

## 【報告事項】

- (1) 学校の教育活動について(松尾校長) 教職員からの報告
- (2) メビウスNo.15の刊行(PR部会)
- (3) その他 道徳教育地区公開授業の参加報告等

## 【協議事項】

- (1) 今年度のアンケート調査について(評価部会)
- (2) 今後のCSの会議日程について(運営部会)
- (3) 各部会での引継ぎの仕方について
- (4) 次年度教職員任用に関する意見書原案の検討
- (5) その他 ①連絡事項 ②各部会の引継ぎの仕方について

## 主な意見

【地域教育活動に関する懇談懇談会】1月16日に3校合同CS実施前の勉強会として開催

(1) 地域教育推進協議会について(地域教育推進協議会田中会長)

・地域教育推進協議会は0歳から15歳までの子どもの育成や教育をコミュニティの問題として考え、家庭・地域・学校が責任を分担し合って、子どもたちが生きる力と豊かな心を育みながら健やかに育つ活力あるまちを実現するための組織。地域によって取り組みが若干違う。十数年前より地域でたくさんの企画をやっていたが、地教推では、それぞれの組織が手を組んで対話をしながら地域課題など一緒に取り組めるようになるとすることが可能になった。対話をする場として年に2回の懇談会を開催している。現在の活動では天沼小学校区の通学路の安全についての活動を天沼小学校PTAと共にに行っていたり、児童館とも子どもたちのための企画を行っている。天沼中学校の生徒より「僕たちはい場所がないんですよね」というところから中学生の居場所について「中学生の欲しい居場所ってなんだろう」と講師を招いて考えたこともある。また防災についての学習会を行ったりしている。

質問:地教推のネットワークで取り組みが分かった。CSや保護者に地教推が期待していることは?

回答:地教連の時代には上から言われたことをしていればよかったが、現在はアーバンのような人のつながりで、やはり”対話”が重要で、地教推ではニュースレターやLINEで情報を発信するようにしている。ニュースレターやアンケートでご意見いただけたら活動に取り入れられるのでありがたい。

(2) 質疑と意見交換

質問:ウェルファームに中学生の居場所をという話ははじめて聞いた。中学生の不登校やひきこもなど、子どもたちに関する課題をすくいとりたいが…。

回答:この地域をよりよくするために皆と対話を重ね情報交換することでできるようになることだと思う。

質問:地教推のLINEとは? 回答:後日、案内したい。

質問:地教推の中心メンバーは児童館ですか? 回答:事務局としてのメンバーは青少年育成委員や児童館など。チームで活動している部分もある。皆さんのが中心と考えている。

質問:スマイルカレンダーは地域の学校情報が分かって良かった。ぜひ再開してほしい。

回答:今年度末にはなんとか実施したい。

質問:中学生の居場所については建物なのか?人と人とのつながりの居場所なのか?エコキヤップやチャリティーマーケットのような活動は中学生がイキイキしていた。復活できるものは復活して新たに作れるものは作りたいと考えるが。

回答:もちろんフロアー的な部分のみならず地域の中で寂しいと感じる部分があった。東日本大震災のチャリティーでは子どもたちの方から被災地に行きたいと声が上がり率した。新しい時代には、新たな状況で許す限りはと考えている。

## 【報告事項】

## (1)新しいCS委員メンバーの自己紹介

## (2)学校の様子報告

①教員より：授業公開にて縦割り活動として2年生の活動発表を1年生が聞き、3年生の活動発表を2年生が聞いた。2年生の職場体験の事後学習発表は生重委員にご参加いただいた。10/14土曜授業は各学年生活文化体験としての授業。子どもたちは外国人の方と英語で濃密な時間を体験した。

②松尾校長・黒澤副校長より

・いくつか生徒間のトラブルがある。時期的に夏休みもあった、子どもたちもなれてきたので起きやすい。今年の特徴は相手を煽るような言動。課題なのは教室内でその状況を他人ごとにしてしまう雰囲気。他の子どもたちの集団として自分たちで集団生活の場を作れるように指導を行う。小学校時代にコロナで経験できなかつた部分を補強していく必要がある。

・進路説明会、新入生保護者会があった。進路は保護者の関心が高かったが、新入生保護者会は天沼小・沓掛小とともに参加者が例年より少なかった。

・来月よりCSメンバーに学校参観し報告を行っていただきたい。

・校長より、天中クイズ、教職員クイズが出され意見交換した

Q1：生徒会関係の7つ委員会とは何か

Q2：土曜授業を行っているが、先生方の勤務形態はどのように位置づけられているか(①超過勤務日として月給の他に日当が支払われる②勤務時間に応じて別の日に振替で休日をとる ②ただし、前2カ月、後4カ月の期間の間にしかとれない 土曜授業の日程によっては、夏休みなど長期休暇にあたらず平日に休みを取得しなくてはならない状況になってしまうため、土曜授業の設定日に配慮を要する。)

(2)メビウスNo.15の刊行(PR部会)…発行に向け動いている。

(3)その他 道徳教育地区公開授業の参加報告等 ①各学年同じテーマで、同じ資料で授業をやっていた。1年生を見たが、各クラスで取り組みが特徴があった。「あなたはひかり」という題材は「一人一人が重要だ」ということ子どもたちの発想の違いも面白いと思った、等

## 【協議事項】

### (1)年度のアンケート調査について(評価部会)

①部会から、これまでの準備状況の説明と今年度のアンケート調査についての資料を基に提案があった。提案の3に基づき、教育委員会の教育調査項目と混ぜてCS独自のアンケート作っていた。一部の質問項目は踏襲しながら、学校経営方針に添ったものを足して作ることを基本とすることとなった。全く新しい項目案だと、今までのアンケートの経年変化を比較できないことと、年度ごとに質問項目の検討が必要になってくる。校長案と基に評価部会と会長で原案を作成し、11月のCSにて確定する。②教育委員会アンケートは11月末を目処に実施。生徒はダウンロードしたタブレットで生徒用のGoogleフォームへ回答。保護者はPTAを通じて保護者用のGoogleフォームにて回答。教員も教員用の12月の全体結果を集計結果。天中CSとしての調査と学校関係者評価は、学校が内部評価を行い1月にするので、それを基に2月に学校関係者評価委員会で検討し、教育委員会に提出する。③同時進行で次年度の教育課程についても検討する流れ。④[学校長の素案]の校長説明を基に、意見交換した。学校経営方針を保護者に示している。学校経営方針のベースが教育課程となっている。学校経営方針が達成できているかどうかを年度末に評価されたものを基に、次年度の教育課程と経営方針を作っていく。今年度はこの観点を入れて新たな調査をやってみたい(保護者、生徒、教員、CSが対象)。「学校経営方針」と「アンケート項目」資料を基に若干の説明があり、質問の文言は保護者と生徒は学校をストレートに評価する主旨とし、学校が出来ているかいかないかを評価することとした。その方針と調査結果の差を見ることが新しいアンケートのポイントであるという趣旨説明があった(詳細は資料を参照)。⑤質問と意見交換が、これらの説明を基になされた。a)設問の趣旨について、b)回答方法の確認(Googleフォームでの選択肢と自由記述)、c)文言の妥当性、統一性についての意見、d)学校支援本部等の地域の人の意見を聞くことは可能か(今回は従来通りで入れない)、e)webアンケートの方法だけなのか(紙ベースも考える、配布方法の工夫)等々、f)「学校経営方針」を見ながら応えるようにするか、等々について、意見交換した。⑥次回CSで、具体的に検討したいので、昨年度調査項目等と比較して意見がある方は齊郷委員にメールをする。次回までに、それらを反映して、修正案を提案する。

(2)今

後のCS会議について：11月14日10時～に決定した。12月は19日の予定とした。

(3)各部会での引継ぎ…CSの部会構成については、若干の意見交換をして、企画PR…戸谷委員、評価…馬場委員が所属予定、ということとした。次回、全員の所属を確定する。

(4)次年度教職員任用に関する意見書原案の検討

①校長からの状況報告を受け、非公開で意見交換した(非公開なので会議録には記載せず)。②意見交換を基に、会長が原案を作成し委員に照会し、提出することとした。

(5)その他 各部会の引継ぎのについては、次回以降も行うとした。

## 次回の会議日程

日時 11月14日(火) 10:00から

会場 天沼中学校 会議室